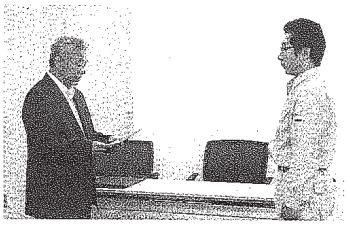
THE NIKKAN KENSETSU TIMES
2017（平成29）年
6月23日（金曜日）第14054号
千葉版
昭和41年12月14日　第3種郵便物認可　©日刊建設タイムズ社2017
日刊建設タイムズ
WWW.K-TI
発行所　日刊建
〒260-0854　千葉市
電　話043-225-5911
Eメール info@k-times
日刊（土・日・祝日休刊
購読料　1か月　7,70
6か月 46,20

きょうの紙面
公共　県と7市の道整備交付金　5か年で総事業費49億円　2
公共　千葉市6月補正予算　待機児童解消に重点　2
公共　香取市粉名口団地改修　千都建築に設計を委託　2
業界　ちば測協／成田西陵高校の講習会に講師派遣　3
公告　館山
竹岡

県コンクリート製品協同組合
18工場に組合認定証
妥協許さぬ厳正な審査

花澤技術委員長

保美理事長


認定工場に対して保美理事長が認定証を交付

千葉県コンクリート製品協同組合（保美善和理事長）は21日、千葉市内の組合会議室で、技術懇談会（第1部）と技術研修会（第2部）を開いた。技術懇談会では、2017年度組合認定向上検査の総評、認定審査結果報告に引き続き、対象となる18社に認定証を交付。技術研修会では、同組合技術委員会の伊藤進副委員長と川俣有平委員が講師を務め、「組合規格及び製造指導要領の改正」をテーマに学んだ。

同組合の認定工場制度は、1987年から共同受注販売事業の一環として開始。当該製品の品質の向上と均一化を目的に、各工場を技術委員が実地検査し、認定工場推進委員会での厳正な審査を経て適格工場を認定するもの。約1か月をかけて行われる認定工場審査では、限られた時間の中で外観、形状寸法、強度試験から管理書類などを確認。18工場が受審した本年度の認定工場検査の結果として「千葉県型側溝」17工場、「千葉県型側溝ふた」14工場、「長尺U形」15工場を認定した。

（3面に「認定工場一覧表」と技術懇談会参加者）

品質の向上と均一化を生む

技術懇談会の冒頭で保美理事長（認定工場推進委員長）は、今回の認定工場審査の結果について「近年に比べても、改正点や修正点が少ない高いレベルとなったと思う」と評価し「今後とも、自ら気づいた改正点などは率先して直して頂くことにより、この高水準を維持して頂きたい」と呼びかけ、あいさつとした。

引き続き、技術委員会の花澤耕一委員長が「審査時において、入口側は明るいが、奥に進むと照度不足を感じる工場が見受けられた」など、何点かの気づいた点を指摘。さらに「組合では今後も、自主検査員制度による審査の実施を考えているので、積極的に参加されることにより、さらなる技量の向上に努めて頂きたい」と要請し、本年度の組合認定工場検査の総評に代えた。

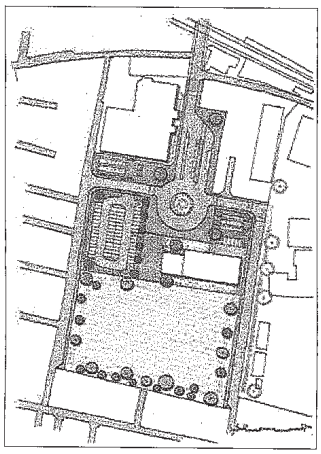
千葉県型側溝など

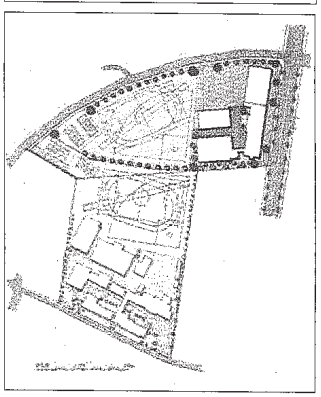
同組合が認定品目としている「千葉県型側溝及び蓋」は、1987年に県土木部（現・県県土整備部）が設計及び施工管理の合理化を図るため、側溝及び側溝ふたの基本タイプを「千葉県型規格」として制定。その後、89年に深溝タイプの種類を追加し、99年に自動車荷重T－25への規格改正を経て現行規格とした。また「長尺U形」は、93年に県農林水産部により、施工管理での互換性や製造の合理化などを目的に規格化した。

近年では、02年に県土木部（当時）において、千葉県型製品などをエコセメントの原則使用とし、認定工場をエコセメント製品に限定して普及を促進。また06年度には、県が土木工事標準仕様書等の改定により「エコセメントコンクリート二次製品の使用の明示及び確認」としたことから、使用セメントをエコセメントとポルトランドセメント等に区分し、認定を実施。今回の認定工場審査では、各工場の担当者による迅速かつ的確な応対により、日頃から品質管理を十分に行っていることが確認された。

船橋市
国有地2か所を取得
二和東5丁目　行田3丁目　まちづくり、学校に活用

二和東5丁目（上）と行田3丁目（下）の土地活用イメージ





船橋市は26日に開会する市議会定例会に、関東財務局千葉財務事務所から二和東5丁目と行田3丁目の国有地を取得する議案を提出する。

二和東5丁目の国有地は国家公務員宿舎二和住宅跡地（二和東5－101－3）で、面積は1万4803・67㎡、取得価格は5億1800万円。

行田3丁目の国有地は、国家公務員宿舎船橋行田住宅跡地（行田3－15－4）で、面積は2万5978・24㎡、取得価格は11億2000万円。

二和東5丁目の土地について市は、既存の建物（公務員宿舎8棟＋集会所1棟）を解体し、駅前ロータリー敷地（1500㎡）、駐車場・駐輪場敷地（2900㎡）、市役所二和出張所等複合施設敷地（2600㎡）、都市公園用地（7803㎡）として活用する計画。

土地利用計画は、駅前ロータリーを取り囲むかたちで正面に二和出張所等複合施設（市役所出張所のほか児童ホーム、老人憩いの家等）、東側に駐輪場、西側に駐車場を配置し、それらの後背地（南側）に防災機能も備えた都市公園を整備する計画。

今のところ、駅前ロータリー及び駐車場・駐輪場は2023年度、複合施設及び都市公園は25年度の供用開始を予定しているが、今後、整備内容も含めて地元住民や市民の意見を聞くほか、スケジュールについても調整を図る考え。

一方、行田3丁目の土地については、新設中学校敷地（2万3182㎡）及び行田中学校拡張敷地（2796㎡）として活用する計画。行田地区では児童・生徒数が増加。近い将来に予定されているAGCテクノグラス中山事業場跡地の開発で、さらに拍車がかかる見通しになっている。

このため市は、同事業場跡地（約7・8ha）の一部を小学校及び保育所用地（約2ha）として取得する予定でいるが、同事業場跡地に中学校用地まで確保するのは難しいことから、中学校用地については行田3丁目の公務員宿舎跡地を取得して充てることにした。

取得する土地は、新設中学校の用地に充てるとともに、一部を給食棟の増築で面積が狭くなった行田中学校運動場の拡張用地に充てる。同拡張用地部分にはテニスコート（2～3面）を整備する計画で、市は今月20日の入札で、既存公務員宿舎等（公務員宿舎9棟＋集会所1棟）の解体設計を含む校庭整備設計を出堀建築設計室（船橋市高根台1－8－3）へ委託することを決めている。落札額は343万6300円（消費税を除く）。

本年度の設計に続いて、来年度で公務員宿舎の一部（行田中学校拡張用地部分1棟程度）を解体し、19年度にテニスコートを整備する予定。

また、新設中学校についてはAGCテクノグラス中山事業場跡地の開発の動向などを見極めた上で、残りの建物の解体と施設整備を進める考えでおり、今のところ整備時期は未定。

カトウて
青少

同会館には、施設が老朽化や狭隘化する中央児童相談所と警察少年センターの機能を移転し、機能強化を図る。中央児童相談所は一時保護所となっているため、宿泊できる居住スペースを確保するほか、新たに研修スペースなどを設ける。

一方、同会館内に入居している男女共同参画センターなどの団体は、旧ちばキャリアアップセンター（千葉市中央区都町2－1）に移転。同センターは、移転団体の受け皿として活用するため、本年度から2か年で大規模改修を行う。工事

万円と債務負担行為4億5300万円を設定している。

青少年女性会館の所在地は千葉市中央区天台6－5－2。敷地面積は6124・36㎡。建物規模はRC造地下1階地上4階建で延べ4675・09㎡。最小Is値は0・45。

が、具体的提案を含めた建議の素案を固めた。注目は、これから加速的に増加する老朽インフラへの対応で、「メンテナンスのセカンドステージへ」と題して、予防保全を前提としたメンテナンスの計画的な実施や、新技術の導入による長寿命の確保、地方への国による技術支援の充実などが必要とした。

特に予算確保に関しては、将来のメンテナンス費用を予測し、予防保全型の管理や新技術の導入等により、増大が予想される維持管理・更新費用を低減させている。

また、老朽化施設の修繕・更新に当たっては、単なる現状復旧にとどまらず、施設の集約化も視野に入れつつ、防災・耐震性能や事故を防ぐための安全性能の向上など施設の質的向上を図ることも求めている。

創業60年信頼と実
有限会社 本間鉄店
東京都足立区綾瀬7-4
地方メーカー直送 在庫販
TEL 03-5616-3311 FAX 03-5
営業品目　鉄筋異形丸鋼
住宅基礎鉄筋
鉄鋼二次製品　土木
鋼材市場価格ホームページで公開　本間鉄